

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題3

にぎわいと魅力あふれるまちづくり

主なSDGsゴール

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。



めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

地域団体や企業等と連携協力して、魅力のあるイベント等を実施し、活気とにぎわいがあふれるとともに、うるおいとみどりのある美しいまちを実現することで区の魅力を高める。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

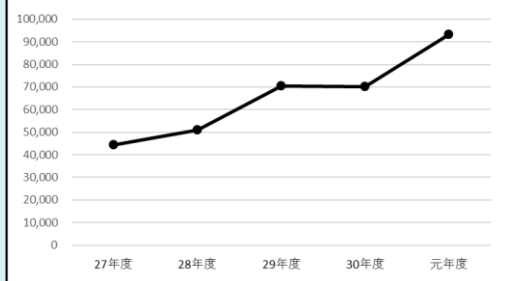
・地域団体や企業等と連携し、当区が主催・共催した各種イベントの来場者数について、平成29年度、平成30年度は7万人を超過、令和元年度は9万人を超過した。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客型イベントの実施実績はなし。

■主催・共催イベントの来場者数

【単位:人】

イベント名	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
のだふじ巡り	4,326	25,519	32,175	26,780	41,775
阪神野田駅前広場(ノダヤオンほか)	995	1,755	7,195	830	762
ほたるまちジャズライブ	1,500	1,800	1,800	1,500	2,160
ふくしま水辺フェス	6,150	920	2,000	2,000	1,080
ざこぼの朝市	31,445	19,090	27,141	19,659	12,353
その他	0	2,000	115	19,325	34,936
合計	44,416	51,084	70,426	70,094	93,066

福島区主催・共催イベントの来場者数



要因分析（めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果）

「のだふじ巡り」や「ざこぼの朝市」など区の特性を活かしたイベントを継続的に開催し、区外からの来場者も増加しているが、さらに駅周辺や水辺などの拠点となるエリアから福島区内を回遊させることができる新たな魅力づくりに取り組む必要がある。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮したうえで、地域団体や企業等と一層の連携を図ることで、区内外からも「また参加したい」と魅力を感じてもらえるイベント等を開催し、効果的な区の魅力発信に努める。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催が困難な中、商店街や企業等と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた安全・安心に配慮した「ふくしまてんこもり2022春」を開催し、効果的に区の魅力を発信することができた。
- ・区民や地域団体と連携した緑化活動を通じて地域コミュニティの活性化を図り、花とみどり豊かなまちとして区の魅力を高めることができた。

めざす成果及び戦略 3-1 にぎわいと魅力あふれるまちづくり

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略(中期的な取組の方向性)	
	・区の玄関口となる駅周辺や水辺など、にぎわい創出の拠点となるエリアにおいて、地域団体や企業団体等と連携して区の魅力発信につながるイベント等を開催し、区の魅力アップの強化を図る。 ・区民自らが育てた花をまちなかに植えることにより、区民がうるおいのある美しいまちと感じられるようにする。		地域団体や企業等と連携して、区内各所に点在する区の花「のだふじ」を活用し区の魅力を発信する。また、区の主要ターミナルである野田阪神駅前周辺地域の活性化に向けた駅前広場の活用や、「ざこばの朝市」などの各種イベントの実施、水辺活性化事業として中央卸売市場前港に開設した「おおさかふくしま・中之島ゲート海の駅」周辺の魅力向上など、エリアをさらに魅力あるものとする。さらに、メディア等へイベントの情報提供を積極的に行い、効果的な広報周知を図る。	
	アウトカム(成果)指標(めざす状態を数値化した指標)			
区主催・共催イベントの来場者数を26年度の2倍増にする(3.5万人⇒7万人)				

自己評価	戦略のアウトカム指標に対する有効性	イ	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカム指標の達成状況		前年度	個別	全体	・新型コロナウイルス感染症の影響により、集客を伴うイベント開催にあたっては、感染拡大防止策やガイドラインを遵守した安全、安心に一層配慮したイベントを開催する必要がある。
	来場者数:3,000人		測定不可	B	B	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 ・満足度の高いイベントを開催し、参加者を対象としたアンケート調査により「また参加したい」との回答で戦略の有効性を測る。
	戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない			

具体的取組3-1-1

福島区のにぎわいづくりのための事業

元決算額 15,775千円 2予算額 10,821千円 3予算額 21,742千円

計画	当年度の取組内容	プロセス(過程)指標(取組によりめざす指標)	
	区の特徴を活かした満足度の高い取組を実施する。 ・区の主要ターミナルである野田阪神駅前周辺地域の活性化に向けた駅前広場の活用(ノダヤオン) ・福島駅周辺のにぎわいと安全・安心のまちづくりの取組(ふくしまてんこもり年1回) ・平成29年に開設した「おおさかふくしま中之島ゲート海の駅」において、水辺エリアの恒常的なにぎわいづくりのため台船を活用したイベントなどの活性化事業を推進する。 ・「おおさかふくしま・中之島ゲート海の駅」において水辺エリアの魅力を高めるイベントの実施(ざこばの朝市) ・都市景観資源などを活用した区の魅力発信の取組(まちあるき他) ・商店街が実施する活性化事業の広報協力 【改定履歴あり】	・イベント満足度:参加者を対象としたアンケート調査により、「魅力を感じた」との回答:90%以上 【撤退・再構築基準】 同上アンケート調査の結果、「魅力を感じた」との回答が50%未満であれば事業を再構築する。	
		前年度までの実績	
		【令和元年度】主なイベント来場者数 のだふじ巡り2019:41,775人(うち新規事業のだふじまつり2019:6600人)、ノダヤオン:762人、ふくしまてんこもり2019:7,550人(参考:ABC:1000人)ふくしま水辺フェス2019:1,080人、ざこばの朝市:12,353人(3回)婚活イベント:19組(男性19人・女性19人)、ほたるまちJazzLive2,160人、「海の駅」来場者数:27,200人、まちあるき他:148人、イベント来場者アンケート調査:「また来たい」との回答した割合:92% 【令和2年度】イベント満足度アンケート調査「ふくしまてんこもり2020」魅力を感じた:82%	

中間振り返り	プロセス指標の達成状況	② (ii)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退・再構築基準未達成		・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集客を伴うイベント開催が困難な状況であるため、今後のイベント開催に向けて他区の取組状況等も参考にしながら来場者の安心・安全に配慮した開催手法の検討を進める。
	戦略に対する取組の有効性	—	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、取組を見直す —:プロセス指標未設定(未測定)

自己評価	当年度の取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須		
	・イベント「ふくしまてんこもり2022春」を実施。 ・ざこばの朝市オンライン(3回) ・商店街が実施する活性化事業の広報(3回)	—		
	プロセス指標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須		
	「ふくしまてんこもり2022春」で区の魅力を感じたアンケート回答者の割合:95.4%	① (ii)		
	①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退・再構築基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、取組を見直す —:プロセス指標未設定(未測定)	

具体的取組3-1-2

花とみどりのまちづくり事業

元決算額 766千円 2予算額 595千円 3予算額 543千円

計画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化リーダー（ボランティア）が種から花苗を育て、公共空間等に花を植え管理する。植え回数：2回（約15,000株を目標に育成） ・区民の緑化活動のきっかけ作りを目的として、区民へ花苗のプレゼントを実施する。 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇の植替え（年2回）を行うとともに、水やりや手入れ等維持管理を行い、来庁者・来園者にうるおいのある空間を提供する。 ・緑化リーダーの活動について、SNS、ホームページ等で区民へ情報発信する。 ・緑化リーダーの新規募集を随時実施する。 	<p>左記取組に対する区民モニターアンケート回答者の認知度：50%以上 【撤退・再構築基準】 区民モニターアンケート調査の結果、回答者の認知度が30%未満であれば事業を再構築する。</p> <hr/> <p>前年度までの実績</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春植え、秋植え花の出荷(16,858株) ・花苗プレゼント2回 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇 植替え2回、手入れ(毎月) ・取組に対する区民モニターアンケート回答者の認知度：48.6% <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春植え、秋植え花の出荷(15,113株) ・花苗プレゼント1回 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇 植替え2回、手入れ(毎月) ・取組に対する区民モニターアンケート回答者の認知度：31.6%

中間振り返り	プロセス指標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	<p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③：撤退・再構築基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	—	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す —：プロセス指標未設定(未測定)

自己評価	当年度の取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	<ul style="list-style-type: none"> ・春植え、秋植え花の出荷(16,460株) ・花苗プレゼント2回 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇 植替え2回、手入れ(毎月) ・緑化リーダー新規加入 9人 		<ul style="list-style-type: none"> ・取組に対する認知度向上のため、幅広い年齢層の区民へ情報発信が必要。
	プロセス指標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	取組に対する区民モニターアンケート回答者の認知度：36.1%	② (i)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化リーダーの活動内容や花づくりの魅力について、継続して広報紙やホームページ・SNS等を通じて情報発信するとともに、新規の緑化リーダーを随時募集する。
	<p>①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③：撤退・再構築基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す —：プロセス指標未設定(未測定)